

セフティマネジメント協会

中国進出企業向けセミナー



柏崎氏

NPOセフティマネジメント協会(事務局は(株)キャブテン内)は6月18日、東京都中央

区の「うすけぼ」で「第8回日中『夢』サロン」を開催した。江東電気(株)管球事業部製造部の柏崎保部長を講師に迎えて、中国進出企業向けに「私から見た中国人」と題し、中国人の気質や考え、行動パターンな

どについて自身の中国駐在時の経験をもとに解説した。

「私から見た中国人」

柏崎氏はまず「中国人を語る前に」として、「その国の暮らしや取り巻く環境を観察

して、文化や考え方をはじめに知ることが大切」と語った。その上で、「中国に行くとき必ず感じること」として、①車の渋滞②車のクラクションにも無反応③割り込みが多い④

挙げ、それぞれの理由について説明した。こうした中国特有の習慣を述べる一方で、中国人の良い面も強調。同氏の体験談として、①バスの中で年寄りに席を譲る場面が多い②医療費が高く入院が難しいが、いざ入院する際は友人がお金を出してくれるのが普通③数字を覚えるのが得意で、10人ぐらいの電話番号は当たり前前に暗

記しているーなどを披露した。同協会は1999年11月に設立。危機管理や知的所有権、PLI予防対策講座などのセミナーを開催し、わが国におけるリスクマネジメントのあり方の研究や提案を行ってきた。2002年2月には内閣府から特定非営利活動法人の認証を受けた。